

令和3年度私立短期大学入試広報担当者研修会 意見交流会報告書

育英短期大学 桂 健太郎

I. 目的

オンライン開催であるが、従前と同様に参加者同士の交流の場を設け、全国の短大の募集担当者が抱えている様々な悩みや問題、事例等を共有し、意見交流を通して自短大での学生募集に活かせる施策やヒントを見つける。さらに短大の募集活動に取り組む仲間のネットワークの構築までを含めて意見交流とする。

II. 実施方法

実施時間 1時間 (12:50~13:50)

各短大の所在地・収容定員・参加者の経年数等により、グループ(1グループ4人を基本)を構成し、各グループをそれぞれのブレイクアウトルームに振り分けて行う。

当初、運営委員が各ブレイクアウトルームを巡回する予定であったが、システム的なことを考慮して運営委員は待機し、質問等があった場合に該当ブレイクアウトルームに入室して回答することとした。

III. 意見交流テーマ・内容

意見交流会を有意義なものにするために、開始前に事前にグループメンバーの自己紹介を行い、グループ内の進行役を決定した後、以下のテーマを提示し意見交流を行った。

- テーマ① 嬉しかったこと・やりがいを感じたこと
 - テーマ② オープンキャンパスへの動員と内容
 - テーマ③ 各グループで意見交流・議論したいこと
- ※決まらない場合はテーマⅡを継続



IV. 総括

アンケート結果より、「意見交流会自体の評価」「満足度の高い議論の有無」「1グループを4人としたこと」については90%の参加者から高評価を得ることが出来た。その一方で「意見交流会の設定時間(1時間)」については満足した参加者が60%にとどまった。今回初めてオンラインでの開催だったため、トラブルが発生した場合の対応等様々なことを想定し設定時間を1時間とした結果、参加者それぞれの思いがアンケート結果に表れたのではないかと思われる。

また、研修会閉会後に意見交流会を1時間継続できるようにしたところ、数グループが継続して交流していたことや記述式のアンケート結果から、やはり本研修会では「他短大のことや活動事例等を知り、自短大の募集活動のヒントを得ることができる意見交流が重要なものである」ということを再認識することが出来た。

今回は初参加者が大多数を占めていたが、1グループ4名という枠組みの中で活発な意見交流が行われた良い交流会になったと思う。